

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



愛別地区
沼田義弘さん・なつみさん

2014
NO.79

10

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5315
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>
編集・営農振興課

日頃のご愛顧に感謝を込めて… 組合員大感謝祭開催!!

8月23日に上川地区、8月29日に愛別地区でそれぞれ組合員大感謝祭を開催しました。

上川地区では大雨時々晴れといった生憎の天気となりましたが、両地区共に多くの組合員の皆様に来場いただき、上川地区ではもぎたて市・もちまき・じゃんけん大会・ビンゴ、愛別地区ではもちまき・じゃんけん大会・早食い早飲み大会・お楽しみ抽選会といったレクリエーションを実施いたしました。

更に焼肉や焼きそば、そばにきのこ汁、愛別地区ではポン菓子も無料で振る舞われました。

今年もJA北海道厚生連の健康相談や関係機関各位の協力をいただきながら、盛大に開催することが出来ました。

来年も実施予定ですので、更に多くの組合員皆様のご来場をお待ちしております。

第45回 上川地区



もぎたて市



じゃんけん大会



もちまき

第6回 愛別地区



もちまき



じゃんけん大会



子供もちまき



早食い早飲み



お楽しみ抽選会



愛別きのこで皆様をおもてなし! あいべつ「きのこの里」フェスティバル開催!



雨が心配されましたが、青空に恵まれ、秋の初めにおいしい愛別の味覚を提供することが出来ました。



9月14日、愛別ダムきのこの里広場で、あいべつ「きのこの里」フェスティバルが行われ、当JAも出店協力しました。28回目をむかえ、今年も町内外から多くの来場者でにぎわい、演奏やダンスの演技・きのここと牛肉の食べ放題などがありました。

また、愛別きのこ振興会による新鮮きのこの販売やきのこをふんだんに使った「きのこ汁」「きのこカレー」「きのこホルモン炒め物」などの販売、JA青年部・女性部による愛別産ななつぼしを釜で一気に炊きあげた「百姓揆炊き」を販売、昔ながらのポーン菓子も販売し、どこのブラスも長蛇の列ができていました。



今後の販売促進に… 旭川食べマルシェに参加!!



9月13～15日、旭川市買い物公園から常磐公園にかけて旭川食べマルシェが開催されました。この行事は道内外の特産品などを販売しているもので、3日間で延べ80万人以上が訪れる規模の大きなイベントです。

上川から、プリンや女性農業者が持ち寄った自慢の「朝もぎ野菜」と特産品「大雪高原牛」のサイコロステーキを販売しました。

3日間とも天気に恵まれ、サイコロステーキも行列ができるなど、今後もイベントを通じて、販売促進につなげていきます。



愛別町では22年ぶり

新嘗祭献穀に伴う抜穂祭

9月16日に新嘗祭献穀に伴う抜穂祭が愛別町字愛別の土屋陽一さんの圃場で行われました。

5月20日の御田植祭から順調に育った黄金色の稲穂を抜穂歌に合わせて早乙女が鎌を使い、手作業で丁寧に刈り取りました。

町内で献上米の農家に選ばれたのは22年ぶりとなりました。

当日は、各関係機関より約60名の出席をいただき、御田植祭同様、JA上川中央・愛別町役場から選ばれた美女5人の早乙女によってゆめぴりかの稲を収穫しました。

土屋さんは「今年の米は農家になって以来、最高のでき」と10月下旬の宮中行事に自信を持って献上します。



生産者と消費者の相互理解と交流を… コープさっぽろ産直交流会開催!!



8月23日、愛別・上川町内でコープさっぽろ産直交流会が行われ、旭川・留萌から約120名が参加しました。

この交流会は、生協で販売している「愛別きのこ」「大雪高原牛」などを通して生産者と消費者の相互理解と交流を図ることを目的に実施しています。

当日は、(有)グリーンサポート(旭ヶ丘地区)で大雪高原牛の見学とエサやり体験、辰巳眞さん(菊水地区)から馬鈴薯・ゆめのコーン(パンチコーン)についての説明、(農)ヒット(中央地区)ではエノキ茸の工場見学と(株)西村食菌(愛別地区)で収穫体験を行いました。

当日は生憎の天気となってしまうましたが、生産者・参加者共に楽しい時間を過ごすことができました。

今年度最後の講義… 胡瓜現地研修会開催!!



9月2日、本年度最後となる第4回胡瓜現地研修会が前回に引き続き埼玉原種育成会の栗田氏を講師に迎え、生産者12名の参加のもと水谷雅仁さん(厚生地区)の圃場で開催されました。

研修では、収穫終盤に向けての対策として、「草勢維持と回復」「成り疲れ対策」「病害虫対策」に重点をおいた講義をしていただきました。

また、9月に入り朝晩の冷え込みが見込まれるため、ハウス内の保温対策についても伝授していただきました。

こんな出来事がありました



◆ 8月30日～31日

上川町菊水／大雪森のガーデン
大雪高原旭ヶ丘フェスタ 2014

◆ 8月26日

札幌市／札幌ファクトリー
国産野菜の契約取引
マッチングフェア in 札幌

今月の表紙

沼田 義弘さん・なつみさん（愛別地区）

- 出身地／義弘さん：愛別町、なつみさん：神奈川
- 家族構成／義弘さん、なつみさん
- 生産物／うるち米、米ナス、大豆、小ネギ
- お2人が知り合ったきっかけは？

上川中央部農村パートナー対策推進協議会(旭川市・鷹栖町・愛別町)の交流会に参加し知り合いました。

- 結婚を決意した大きなポイントは？
遠距離ということもあり、なかなか会えない中、妻が何度も北海道へ足を運んで来てくれたこと。
- 1週間くらい休みが取れたら、どんなことをしてみたいですか？
北海道一周してみたいです。
- 将来の夢は？
家族みんなで農作業を通して笑顔が絶えない家庭を築きたい。



農作業風景



稲刈り取り作業

小山昌彦さん/金富地区



馬鈴薯収穫作業

上川町馬鈴薯生産組合/菊水地区

今年も美味しいお米ができました 26年産米出荷始まる!!

26年産米の収穫が始まり、愛別地区では9月11日、上川地区では9月17日から出荷が始まりました。今年、融雪も順調に進み、田植え後も好天に恵まれ生育も順調に進み、豊穰の秋を向かえる事が出来ました。品質も良く、美味しい新米を召し上がって下さい。



中田 康之さん (菊水地区)



小山 昌彦さん (金富地区)



命に感謝… 畜魂祭執り行われる!!

9月19日、上川町内にある育苗施設横で畜魂祭がおこそかに行われ、野口専務をはじめ上川町と愛別町で酪農・畜産業に携わる方が集まり動物達に日々の感謝と冥福をお祈りしました。途中雨風におそわれましたが、神主の方を招いて奉納が行われ、無事に畜魂祭を終えることができました。

歩夢

第8回 「平成～国際化の波が 自由貿易交渉 (GATT)」



もち米生産団地指定、平成5年
冷害で不作だったがコンバイン駆動

開拓から92年後(昭和61年)、日本にも国際化の波が押し寄せガット・ウルグアイ・ラウンドによる貿易の自由化交渉が始まりました。戦後の昭和23年に発足されたGATT (ガット:関税と貿易に関する一般協定)は以後WTO (世界貿易機関)が設立され発展改組されるまで128ヶ国が加盟する事実上の国際経済組織の支柱となりました。8回目となるウルグアイ・ラウンドでは7年半に亘り多国間貿易交渉が行われ、難航した農業分野でも将来的に全ての農産物を関税化に移行させることやミニマム・アクセス(最低輸入機会)を決定するととどまり完全自由化には至りませんでした。平成3年に牛肉・オレンジが貿易自由化となり、平成7年にはミニマム・アクセスによりお米の一部(国内消費量の4%)を無関税によって輸入することが義務付けられました…

開拓から89年後(昭和58年)の愛別町では、6月～7月にかけての低温による出穂の遅れに加え、旭川気象台始まって以来とも言われる10月7日未明の早い降雪により、一晩で1,127haの稲が全面倒伏し、町には雪害対策本部が設置され町内関係団体・女性部・商工会などの援農によって収穫作業が行われましたが、度重なる降雪や天候不順などにより最終的に118haが雪害による刈残田となり、出荷する事が出来たお米は43,779俵(作況指数68%)にとどまりましたが、その内82%が規格外米という過去に例を見ない被害となりました。

昭和61年には、山間地域の稲作安定を図るために良食味米品種(うるち米)の栽培が厳しい「協和・伏古・中央・愛山」の4地区を指定して、とも補償制度・自家用もち米は生産組合が責任を持って供給する事・団地外のもち米作付けを団地に集約するなどの合意により翌年には「愛別町もち米生産団地組合」が設立されました。同年には上川町でも農家の一大決心がありました…これまで「うるち米」を中心に作付けしていた全ての生産者で「もち米」専作として取り組む事に合意され、「上川町もち米生産団地組合」も設立されました。

当時はバブル経済で、前年にあったG5によるプラザ合意(協定的はドル安:当時1ドル235円⇒翌年1ドル120円)が始まりとされ、バブル時の株価は平成元年大納会で史上最高値38,957円が付き、地価も高騰し数字上では東京23区でアメリカ全土が購入できるほどとまで言われる土地神話となり、平成2年に発売された子供たちの玩具スーパーファミコンのソフトの中には一部9,000円の物が出るほどでした。

4年6ヶ月続いたバブル経済は平成3年から急激な崩壊が始まりましたが、まだ楽観的な期待感を持つ人がほとんどで、その深刻さが表面化するまでに数年の時間を要し、平成7年に不良債権問題や株価低迷によって大手金融機関が破綻すると大きな経済問題となり、その後長期不況(失われた10年)となりました。

この連載は「愛別町史」、「上川町史」他を元に編集・作成しています。

ユネスコ無形文化遺産の
「和食」

主役は旬の新鮮食材

よい食P

新米をおいしく食べよう

春先に植えた苗が育ち、秋の収穫シーズンとともに新米が食卓にのぼります。日本のお米は一粒一粒が最上の品質を誇り、海外でも高い評判を得ています。とりわけつややかな新米は、おかずなしでもおいしく食べられ、日本人が一番喜びを感じる時期ともいえます。

新米と古米には明確な区別はありませんが、JAS法では、収穫した年の年末までに精白された精米に限り、「新米」といってもよいことになっています。新米は水分が多く、柔らかくて香りがよいのが特徴です。

新米をおいしく食べるには、米びつに入れ、涼しい場所に保存しましょう。備長炭や鷹の爪を入れると防虫効果があります。

ところで、仕事を始めて間もない人、経験が足りない人を「新米」と呼ぶことがあります。もともとは江戸時代に新入りの店員が新しい前掛けを付けていたのを「新前掛け」とよび、これが「新前」になり、さらに「新米」に変化したとする説が有力です。

(監修＝女子栄養大学栄養クリニック教授 蒲池 桂子)



ひとくち必経

新米のおいしい炊き方

水にこだわると新米の風味が引き立ちます。水道水は浄水器などでカルキ臭をとばします。その水で力を入れずに軽く洗ってざるにあげ、さっと水を切り、夏場なら30分、冬場なら1時間ほど水に浸します。新米は水分を吸収しやすく柔らかくなりやすいので、水を少なめにして炊きます。炊きあがったらしゃもじでほぐし、余分な水分をとばしておきましょう。

2015年ミラノ国際博覧会のテーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを。」Aグループは、「共存する多様性」をテーマに掲げる日本館への協賛を通じて、「多様な農業の共存と食料主権の尊重」を世界に発信し、世界の食料問題の課題解決に貢献していきます。

するーらいふ

根室まで… 丸瀬布出口から高規格道路を降りると、根室までは一般道をひたすら走る。

今年も豊作モードの水田風景から、玉葱作付けが広がる畑作地帯を抜けて行く。晴天の美幌峠には、滅多にお眼にかからないものだ。どんよりとした雲が、低く立ち込めた午後だった。峠の坂道を下り切ると、そこからは左右に大きな牧場が広がる酪農地帯だ。弟子屈町から標茶町虹別そして上西春別へと走る国道は別名パイロット国道の名前がつく。戦後に開墾された、パイロットファーム「実験農場」地帯を抜けることに由来する。

そこで交差する中標津空港へ抜ける道は、ミルクロードと名付けられている。あっちこっちで放牧された乳牛が草を食む。更に走ると、まもなく別海だ。給餌用に刈り取り巻かれた牧草ロールが、行儀良く並んでいる。

酪農地帯に入って「牛横断注意」の看板が眼に飛び込んで来る。エンジェルマークの付いた煙突がチーズ工場だと教えてくれる。短い街中を過ぎると、行き交う車両は少ない。

根釧台地を走り厚床を過ぎると、広大な風蓮湖が飛び込んで来る。アクセルを踏んでいた足を少し休ませた。冬場には丹頂の飛来があり、パートウォッチャーには人気だ。

湖畔を抜けると、根室湾を左に見て根釧国道を走るだけだ。7月中旬の宵、潮風が涼を呼び根室の町が心地良い。翌朝早く、根室の町から半島突端の納沙布岬を目指した。

友知(トモシリ)を通り、小高い丘に鎮座する幽舞神社を仰ぎ太平洋の波音を聞く。間もなく納沙布岬に辿り着く。実に遠い道程だった。四島の架け橋のシンボルアーチと中央の灯台が、遠く霞む島影を望む。瑤瑤瑤(ごようまい)水道・野付水道を挟んで60有余年前の歴史の傷が偲ばれ悔やまれる。

此処まで来たら、霧多布湿原が良い。釧路と結ぶ国道をしばらく走る。ここも酪農地帯を抜けて行く。車は初田牛の信号から浜中町へと入って行く。太平洋の潮風を受ける樹木は、地を這うような高さだ。海辺に沿って走ると霧多布湿原だ。3200haの湿原の保全と自然保護運動が展開されている。その規模広大さは22000haの釧路湿原には、遠く及ばない。しかし、春から夏の白いワタスケ群落や黄金色のエソカンソウ・紫色のノハナショウブ群落などを、仲の浜木道を歩きながら眺められる。7月中旬の今は、丁度ノハナショウブの紫盛りである。夏の道東のさわやかさを堪能した小旅行だった。



※このコラムは連載です。

Information

事業主の皆さんへ

11月は、労働保険適用促進強化期間です！

労働保険の加入はお済みですか？

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

【お問い合わせ先】

厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課 (011-709-2311)
最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所

食べて健康、記帳で万全、 笑顔をつなぐ食と農

自給・環境・ライフプランで暮らしを築く

旬のめぐみを賢く保存



12月号別冊付録
**2015年 家の光
家計簿**
— 日記付き —

POINT

- ① 「記帳と帳簿等の保存義務」にも対応しています！
- ② 環境にやさしい「エコライフ情報」が満載！
- ③ 自家生産物の消費で自給力アップ。家計も体もスリムに！
- ④ 「ライフプラン」で家族の夢や目標を実現しよう！



1月号別冊付録
**手作り食品
12か月**

POINT

- ① 旬の素材を加工して「家庭内自給力」をアップ！
- ② 捨ててしまうなんてもったいない。食材をフル活用！
- ③ 自分で作れば安全・安心。そして楽しい、おいしい！
- ④ いま話題の「レモン塩」。私流の調味料も手作り！

人・JA・地域が元気
家の光



**申し込み
受付中**

「家の光」定価(税込)
[普通月号] 617円
[家計簿付き12月号] 1,008円
[付録月号(1・4・5・7・9月号)] 906円

◎農業・地域・JA組織のリーダーのためのオピニオン誌



農業改革やTPP問題については
動きを注視しながら随時特集記事を掲載！
[普通月号(税込)] 606円
[付録月号(4・11月号)(税込)] 668円

◎食農教育をすすめる子ども雑誌



[普通月号(税込)] 483円
[付録月号(1・4・8月号)(税込)] 565円
(公社)日本PTA全国協議会 推薦

JAグループ(一社)家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原11 TEL: 03-3266-9039 ホームページ: <http://www.ienohikari.net>

土壌改良・地力増進経費の一部を助成します

地域環境型農業が持つ多面的効果を促進することを目的に、以下の通り支援します。
 なお、1年間あたりの予算額を超過した場合は割合の調整をいたします。

■制度内容

| 区 分 | 支 援 額 |
|-------|--------------|
| 稲わら収集 | 10aあたり400円以内 |
| 堆肥助成 | 購入額の10%以内 |

1. 事業実施者は組合員であって次の要件を全て満たしている方です。
 - (1) 愛別堆肥センター又は愛別、上川地区畜産農家より購入した堆肥を使用していること。
 - (2) 原則、町内(愛別・上川)の田・畑に施用していること。
 - (3) 堆肥が施用された田・畑で生産された農産物を販売していること。
2. 基準施用量は北海道施肥ガイドを基準とし次の各号の定めによります。
 - (1) 水稻、麦類、てんさい、ばれいしょ、豆類、そば、ひまわり、とうもろこし(サイレージ用)及び飼料作物の基準施肥量は10a当たり1t
 - (2) 牧草、露地野菜、果実及び花卉の基準施用量は10a当たり2t
 - (3) 施設野菜の基準施用量は10a当たり4t
3. 助成対象経費は事業年度の4月から積雪前までの堆肥購入に係る経費とし、加算される運賃及び消費税額を含み、自己引取りによる割引分については除きます。ただし営農上必要と認める場合は、3月中の購入に係る経費も当該事業の補助対象とします。
4. 事業期間は平成25年から平成27年までの3ヵ年です。

お問い合わせ先

本所 営農振興課
6-5315
支所
2-1113

組合員のうごき

(平成26年8月21日現在)

| | |
|--------|--------|
| 正組合員戸数 | 390戸 |
| 総組合員数 | 2,657名 |
| 正組合員数 | 606名 |
| うち団体数 | 35団体 |
| 准組合員数 | 2,051名 |
| うち団体数 | 72団体 |



- 27日 食へる・たいせつフェスティバル (札幌市 ～28日)
- 26日 第8回定例理事会
- 19日 奮魂祭 (上川地区)
- 16日 新嘗献穀祭 抜穂祭
- 14日 第28回あいべつ「きのこの里」フェスティバル
- 13日 北の恵み 食へマルシェ (旭川市～15日)
- 3日 定例企画会議
内部審査協議会監査 生活課 (～5日)
- 2日 JA監事監査 第2四半期監査 (～5日)
- 1日 26年産米集荷推進(愛別地区)

JAのあゆみ 9月

JAグループ職員・社員養成学校
大学・短大・専門学校生大歓迎

JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込) ●24歳未満
- 試験日:12月9日・10日・11日
- 願書受付:9月8日～11月10日
- 学校見学もできます

男女共学 JA、JA関連会社へ就職

お問い合わせ・資料請求

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
(JAカレッジ) ☎0120-918-417

JAカレッジ 検索

営業日・営業時間変更のお知らせ

○Aコープ(あいべつ店・かみかわ店)
平日・土曜日 9:00～18:00
祭日 9:00～17:00

期間:11月1日～平成27年4月30日

○資材店舗(本所・支所)・農機センター
土曜日 休業

期間:11月1日～平成27年2月28日

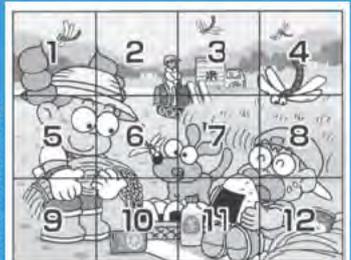
○ホクレン愛別給油所
平日・土曜日 8:00～18:30
日曜・祭日 8:00～17:00

○ホクレン上川給油所
平日・土曜日 8:00～18:30
日曜・祭日 8:00～18:00

期間:11月1日～平成27年3月31日

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を探しましょう。



先月の答え

- 3…トラックのボックスが高い
- 5…口の形が違う
- 7…耳が上がっている
- 10…缶ジュースが倒れている
- 12…頬にご飯粒が付いている

出題・イラスト:酒井栄子